



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第1029号 (一部抜粋)



令和6年7月17日



5. ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ 国産梅がピンチ！ ◆



近頃まで、スーパーには青梅や完熟梅が並んでいましたが、自家製の梅干しを作られた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

梅の流通期間は、5月～7月ですが、今年は暖冬などの影響で、全国的に梅が不作であるとのニュースを見かけました。梅の主要な産地は、和歌山県と群馬県で、和歌山県でとれる梅は日本の生産量の約6割を占め（農林水産省）、梅干しによく使用される梅の品種では南高梅が有名です。しかし、JA 紀南では、南高梅は例年の6割程度に生産量が減少することがみこまれるとの予想を公表しています（令和6年5月16日時点）。生産量が少ない場合は、梅干しの製造にも影響がでるかもしれません。

なお、梅干しや原料となる梅の調整品は外国から多く輸入されています。FAMICでは、梅干しなどの梅の漬物について科学的検査を行ない、原料梅の原料原産地表示の監視を行っています。この検査では、梅の種に含まれる元素を分析して、国産か外国産かを推定します。

原料原産地に関する表示は、農産物の流通状況も注目しながら、監視を行っています。

参考資料

- ・NHK ニュース（令和6年6月6日）

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240606/k10014472501000.html>

- ・作物統計：農林水産省

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/sakumotu/sakkyou_kajyu/biwa_momo_ume/r5/index.html

- ・JA 紀南：紀南の産地情報

<https://www.ja-kinan.or.jp/sanchi.html>